

## 令和6年度第1回 旭川市民文化会館運営審議会 会議録

- 1 開催日時 令和6年10月23日(水) 18:30~19:45
- 2 開催場所 旭川市民文化会館 2階 第2会議室 (旭川市7条通9丁目)
- 3 出席者 **【委員】** 12名  
浅井委員, 鎌田委員, 北村委員, 小林委員, 佐藤(淳)委員, 玉村委員,  
富田委員, 坂東委員, 平間委員, 宮田委員, 山岸委員, 山口委員  
**【市側】** 8名  
(社会教育部) 佐藤部長 (文化振興課) 吉川文化ホール担当課長  
(市民文化会館) 長岡館長, 宮崎主査, 鈴木主査  
(文化ホール整備担当) 田島部長, 熊澤主幹, 今村主査
- 4 欠席者 **【委員】** 3名  
大島委員, 菅野委員, 佐藤(淳一)委員
- 5 傍聴者等 0名
- 6 議 題
  - (1) 令和5年度市民文化会館利用状況等について
  - (2) 令和5年度市民文化会館決算概要等について
  - (3) 令和6年度市民文化会館予算概要等について
  - (4) 令和5年度自主文化事業実績等及び令和6年度自主文化事業概要等について
  - (5) その他
- 7 資 料
  - (1) 令和6年度第1回旭川市民文化会館運営審議会議案書
  - (2) 旭川市民文化会館整備基本構想(概要版)
- 8 会議録(要点) 別紙のとおり

## 会議録（要点）

## 1 開会

会長の進行により開会。

事務局から本日の出席委員数が過半数を超えており本審議会が成立していることを報告したほか、本日の審議会の会議録の公表方法の説明及び配付資料の確認を行った。

## 2 社会教育部長挨拶（内容）

市民文化会館の開館 50 周年記念事業として、11 月には「NHKのど自慢」や「札幌交響楽団旭川公演」の開催を予定しており、ともに大変好評な状況であることから、委員の皆様もお楽しみいただきたいこと。

また、市民文化会館の建替えに係る整備基本構想を 3 月に策定したところであるが、4 月以降は担当のスタッフを新たに 3 名配置し、基本計画の策定に向け検討を進めていること。

本日の審議会の議題は、市民文化会館の令和 5 年度決算や令和 6 年度予算等についてだが、委員の皆様方から様々な御意見等を賜りたい旨の内容。

## 3 委員自己紹介

今年度、委員 5 名の変更があったことから、本日出席している委員全員が改めて自己紹介し、その後、市側で新たに着任した職員が自己紹介した。

## 4 議題

## (1) 令和 5 年度市民文化会館利用状況等について

事務局からの資料に基づく説明後、特に質疑応答等はなく、本審議会への報告を終了した。

## (2) 令和 5 年度市民文化会館決算概要等について

事務局からの資料に基づく説明後、特に質疑応答等はなく、本審議会への報告を終了した。

## (3) 令和 6 年度市民文化会館予算概要等について

事務局からの資料に基づく説明後、特に質疑応答等はなく、本審議会への報告を終了した。

## (4) 令和 5 年度自主文化事業実績等及び令和 6 年度自主文化事業概要等について

事務局からの資料に基づく説明後、委員からの質疑応答等を経て、本審議会への報告を終了した。

なお、主な質疑応答等の要点は次のとおり。

## &lt;委 員&gt;

令和 6 年度事業の「きかんしゃトーマスファミリーミュージカル」は、土日開催ができなかったのか。

## &lt;事務局&gt;

本市からの公演申込み時点で、既に 8 月 10 日（日）は他県での公演がブッキングされており、9 日（土）の開催も機材輸送等の問題から難しく、8 日（金）の開催となった。

なお、開館 50 周年記念であること、そして、市民文化会館の建替えが近い将来予定されていることから、

低年齢層、特に未就学児の子どもを対象に当館を利用し、楽しんでいただけるよう本イベントを開催したところであるが、その目的を達成することはできたものの、結果については満足できなかったところである。

未就学児を主にターゲットとする大ホールでの大規模イベント開催は、当館にとっても初めての試みであり、近年一のレベルで広報活動に取り組み、チケット料金も低価格に設定するなど、様々な創意工夫をしたが、8月開催という旅行やアウトドアシーズンとの兼ね合いも含めて、非常に難しい分野であることを痛感した。

来年度から記念事業ではなくなるため、しばらくは低年齢層向けの大ホールイベントについて、調査・研究を進めたい考えである。

#### <委員>

旭川ではどのようなイベントに人気があり、そして、どのように開催するイベントを決定しているのか。また、その料金設定はどのようにされているか。

#### <事務局>

過去の自主文化事業の入場実績等から、「札幌交響楽団」、「キーウ・クラシック・バレエ」及び「万作の会（狂言）」の3つの公演が市民の人気が高く、これらの文化・芸術分野に高い関心があることが伺え、いずれも入場者数千人以上を期待できるものである。

これら3公演を、ある程度ローテーションで開催しながら、新しい分野の公演にチャレンジしている。

料金設定については、見込まれる公演費用を入場見込者数で割り返すことにより設定しており、自主文化事業における公演料金は、通常より低価格であるため、チケット価格も安価になる。

#### <委員>

自主文化事業で呼んだ第一線で活躍するプロ（音楽家等）と地元のアマチュア（若者等）と一緒に何か（演奏等）をする機会を設けるなど、プロとアマの交流を通じて、知識や技術の向上に繋げられるようにしてはどうか。

#### <事務局>

その視点は重要視しており、実際、令和5年度の自主文化事業では、クラシック・バレエ公演に先駆け、バレエ教室に通う生徒を対象に、プロのダンサーからバーレッスンを受ける機会を設けており、宝くじまちの音楽会でも、主演ミュージシャンと地元合唱団との合唱をステージ上で行っており、観客として見る・聴くという形だけでなく、体験・参加型の側面も取り入れているところである。

このような視点での自主文化事業の選定は、今後も機会があれば取り入れていきたい考えである。

#### <その他>

議題とは直接関係ないが、委員から次の事項についての要望・質問があった。

- ・来場者、関係者用の駐車場の充足状況について
- ・毎年、優秀な成績を残した団体（吹奏楽や合唱等）については、活動実績への評価や今後の活動意欲がさらに高まるよう、市で適切な日程を確保の上、市民文化会館でその成果を広く披露する機会を設ける支援をしてはどうか。
- ・市民文化会館と市総合庁舎の庭（緑）の管理について
- ・駐輪場の段差について

(5) その他

事務局から追加の議題提出はなく、議題（5）その他の審議はなかった。

5 その他

議題審議終了後、市民文化会館の整備基本構想について、文化ホール整備担当から資料に基づく説明があり、特に質疑応答等もなく説明を終了した。

また、事務局から次回会議の日程等について連絡した。

6 閉会